

大原薬品、ガンプロ甲賀工場の土地・建物を買収

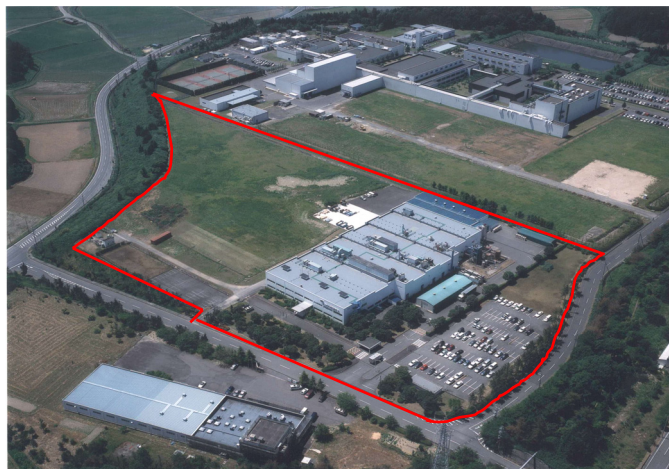
— ジェネリック医薬品事業の拡大・安定供給体制の確立を目指す —

ジェネリック医薬品メーカーの大原薬品工業株式会社（本社：滋賀県甲賀市、代表取締役社長：大原 誠司、以下大原薬品）と、透析機器メーカーのガンプロ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：藤原 武志、以下ガンプロ）は、大原薬品がガンプロの甲賀工場を買収することで基本合意致しました。

今回の買収は、かねてから生産及び研究開発体制の強化を目的に、工場・研究所の拡大に伴う新たな土地取得を検討していた大原薬品が、甲賀市の斡旋を受けて、本年9月末に操業を停止したガンプロ甲賀工場（甲賀工業団地内）の取得を進めていたもので、買収日は2004年12月1日付となります。

取得した土地は46,500m²、建物の延床面積は7,300m²。今後、同工場施設の改修を行った後には、「滋賀工場」として稼働させ、高薬理活性の製剤にも対応する新工場として生まれ変わり、現在の神工場とともに2工場で生産能力の倍増を予定しています。

今回の工場取得により、大原薬品は、ジェネリック医薬品の拡大に備えた生産体制の強化が図られ、安定供給体制をより強固なものとしします。また、アウトソーシングをも視野に入れた設備の増強を進め、積極的な業務展開を図っていく計画です。さらに、製造力の強化とともに、研究開発力の向上にも注力し、06年には売上高60億円（03年度41.6億円）、経常利益5億円（同2.3億円）を目指します。



工場所在地 〒520-3403 滋賀県甲賀市甲賀町鳥居野 121-15

（大原薬品について）

大原薬品工業株式会社は、医療用医薬品・一般用医薬品・ファインケミカルの製造並びに販売、及びこれらの輸入輸出業務を行う製薬企業です。1957年の創業以来、特に医療用医薬品事業に特化して拡大を図り、ここ3年間の伸び率は148.7%と、業界でもトップクラスの成長率を誇っています。大原薬品の特色は、海外の大手ジェネリックメーカー同様、ジェネリック医薬品の製造と同時に原薬の製造も手がける点にあります。川上から川下までの全工程をカバーできる医薬品企業として独自のポジションを築いています。特に固形製剤では、4月以降DMF制度の導入もあり、製剤開発時点からの原薬の物理化学物性は非常に重要です。また、組織においては社長直結の安全性部門を配し、来年の改正薬事法に対応した体制をいち早く取り入れています。

URL: <http://www.ohara-ch.co.jp>

（ジェネリック医薬品について）

ジェネリック医薬品とは、先発品（新薬）と効き目（効果）が同じで、患者さんの負担を軽減する医薬品のことです。先発品（新薬）は医療の進歩に貢献するために世の中に送り出されますが、その開発費は通常150～200億円にもものぼるため、特許法で当該特許の出願から20～25年間は独占的販売権が与えられています。ジェネリック医薬品は、先発品が発売された後の一定期間、その有効性や安全性についてより多くの情報が蓄積され、有効性や安全性が確認された後使用されます。

（ガンブロ株式会社について）

ガンブロ株式会社は、血液浄化、血液成分技術分野においてグローバルに活動を展開する医療企業のガンブログループの日本法人です。ガンブログループは世界40ヶ国の直接法人を含む90ヶ国に拠点をもち、21,000人の従業員で構成され、最新医療技術、優れたヘルスケアサービスをグローバルに提供しています。

URL: <http://www.gambro.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先：

大原薬品工業株式会社

担当：井用隆弘

TEL：0748-88-2200 e-mail：iyo@ohara-ch.co.jp